

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）地域力（鳥取力）を高める公民館活性化モデル事業	600	0	600				600	
トータルコスト	1,407千円（前年度0千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助要綱の企画、補助申請・報告等の審査、補助金の支払い等							
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

住民同士が「学ぶ」「集う」「結ぶ」という公民館の機能を最大限活かし、「人づくり・地域づくり」を継続して推進していくため、「地域力（鳥取力）」を高める県内公民館の先進的な取組を「モデル事業」として指定し、具体的な事業を通してその有効性を情報発信し、公民館を核とした地域づくりを推進する。

2 主な事業の内容

区分	事業内容
モデル事業の指定	○モデル事業の実施希望調査→事業の審査、決定 (200千円×3公民館)
企画委員会の開催	○事業の詳細計画、評価（公民館運営審議会、住民）
モデル事業の実施	[事業例] ○異世代交流の推進 テーマ：地域を知ろう 手法：世代を超えた実行委員会方式、フィールドワーク ・フィールドワークを通して地域マップづくり。完成後はウォークラリー等新たな事業に発展。 ○社会全体で教育を推進する取組 テーマ：中学生の地域参加 手法：生徒会、PTA、地域住民の連絡会 ・年間を通じて中学生が地域活動に参加・参画しやすい体制を構築
事業実施結果の発信	○各種研修会における事例発表 ・公民館職員企画能力向上研修（東・中・西部教育局） ・研究集会（公民館連合会） ○教育局による公民館訪問等を捉えた情報提供 ○HPによる情報発信

3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成20年度「鳥取県公民館振興プラン」を策定し、公民館が「人づくり」「地域づくり」の活動拠点になるための基本的方向性を提案し、県内市町村教育委員会、各公民館に周知した。
- ・また、公民館振興プランの5つの柱に沿ったテーマを設定しての各教育局主催の公民館主事等企画能力向上研修を実施している。
- ・しかし、公民館の取組には格差があり、公民館本来の機能を生かした新しい取組につながない現状があり、公民館振興プランの浸透を図り、鳥取力創造運動に繋がる地域の活性化を図るために、公民館を支援する。